

アメリカコハクチョウ（カモ科） 全長120センチ

3月に入ると、繁殖地に向うハクチョウの群れが次々と上空を横切ります。

コーコーと鳴きながら通り過ぎる見事な編隊飛行を眺めていると、思わず頑張っ〜と叫んでしまいます。雪消えも早くあちこちに黒い地面が現れると、広い田んぼに降り立った大きな群れが何か所でも見つかりました。コハクチョウとオオハクチョウです。雪解け水で柔らかくなった田んぼが餌場となっているのです。草食のハクチョウは、稲の切り株や根が食べやすくなっているのでしょう。



クチバシが黒いのがアメリカコハクチョウ。

数百羽の群れの中から、偶然1羽のアメリカコハクチョウが見つかりました。

コハクチョウのクチバシの先は黒く基部は黄色ですが、アメリカコハクチョウは大部分が黒く、目の前に小黄色斑があるだけ。北アメリカで繁殖し、日本には稀に飛来するようです。

過去に、アメリカコハクチョウではないかと思われる個体を数羽撮影したことがあったが、クチバシに僅かな黄色部分があるものだけでした。どれもアメリカもどきで、確定できる程の自信はありませんでした。



雪解けが進んだ田んぼで採餌中。後方のフェンスは神宮寺バイパス。



稲の根を食べるには、柔い土でなければなりません。

今回の個体のクチバシは殆ど黒いことから、アメリカコハクチョウに間違いないようです。

数百羽の中から、クチバシの色の違いだけで見つけ出したことは偶然でしょうか。それとも、下手な鉄砲も数打ちゃ当たるということでしょうか。



3月9日の新聞に掲載された写真。



クチバシの色以外は、殆ど見分けが付きません。